

委員長 休憩を解いて再開します。 (14時20分)

一般会計予算の歳出は款別に審査を行います。ページ数は38ページの議会費から77ページの総務費、94ページ、95ページの民生費の災害救助費、142ページから149ページの土木費の項、住宅費と消防費の審査を行います。御質問のある委員は挙手をお願いします。ございませんか。質問のある方。

古谷委員 1点だけお伺いいたします。71ページの上段ですね、地域交通対策費のところ、備品購入費ということで、デマンドバス車両購入費とあります。この内容をちょっと教えていただきたいと思いますが、購入費、何台、導入時期、また、その導入してすぐ稼働できるかどうか、稼働時期ですね。それとあと、今、3社が運行してますけども、3つの会社が。これが増えたことによって、利用者がもう少し増やすのかどうか、その辺を教えていただきたいというふうに思います。以上です。

政策推進課長補佐 ただいまの御質問に対してお答えします。まず、備品購入費の車両購入費用なんですが、こちらはですね、バスを車両を2台分ということで見込んでおります。2台分につきましては、現在のエリアではなくてですね、新しくですね、これまだ調整前なので言い切ることはできないんですが、現在のところ、開成町の方面へですね、住民の方から要望があることを踏まえてですね、拡充をしていきたいと考えておまして、これに伴う増加分としての2台分というふうに考えております。よってですね、その分、例えば今回大井町さんともそうなんですが、仮に開成町さんのほうに拡充した場合はですね、開成町の住民の方の御利用も考えられるので、その分の利用者の増加も見込んでおるところでございます。以上です。

古谷委員 今、3社の運行なんですけど、それは同じ3社が受け持つということで、よろしいですか。

政策推進課長補佐 ありがとうございます。現在の3社を基本に考えてはいきたいんですが、何分ドライバーさんのですね、不足という状況もありますので、この辺りも踏まえて、その調整をですね、図っていきたいなと考えております。先ほどちょっとお答えし損ねたんですがですね、導入時期ですね、できればですね、10月か

らエリアを拡充した部分をですね、始めていきたいと考えておりますので、予算お認めいただいた上ではですね、開成町さんのほうと調整をすぐに進めていきたいと考えております。以上です。

古 谷 委 員 分かりました。新しいエリアということなのですが、今、4台で松田町町内やってますけど、なかなかつかまらないときがありましてですね、話を聞いておりますので、そこらを増車されるということは、うまく、また運行のほうをしていただきたいというふうに思います。以上です。

委 員 長 ほかにございますか。

寺 嶋 委 員 確認します。質疑範囲ですが、総務それから、何ていいましたっけ、あと消防、もう1つは何ですか。

委 員 長 民生の災害救助費、94、95ページですね、それと142ページから149ページの土木費の項、住宅費と消防費の審査になります。

寺 嶋 委 員 では伺います。57ページです。総合戦略策定支援業務における事業ということで、新たな視点でのね、取り組みの事業についてお伺いします。これが結局、あとですね、前者の方、質問、質疑ありましたけども、ページ71のA I オンデマンドバスの実証実験事業ということで、先ほど、運行エリアの拡大ということでありましたが、これは開成町などに行って、ミーティングポイントはどのぐらい増やす予定でしょうか。数として、もし案がありましたら、お聞きしたいと思います。

それから、デマンドバスの運行、運営っていいですか、これはね、やっぱり収支のほうは相当赤字のようですけども、やっぱり、これからデマンドバスをね、増やすと、台数も増やすということで、今後ね、やっぱり支出のほうはね、また経費のほうは、また少しかかると思うんですけども、このやっぱり、一人でもね、利用者の方が増えるように、今後ね、持続可能な運営の、持続可能ができるね、やっぱり運営ということで考えないといけないと思いますが、取組ですね、これからの取組策、充実策についてお伺いをいたします。

それから、93ページ、子育て支援、子育て世帯支援事業…違った。

委 員 長 93は除きます。

寺嶋委員 入ってないか。じゃあ、消防。消防ですね、消防はいいんですね。

委員長 消防は大丈夫かな、災害のほうだ。

寺嶋委員 災害だけ。

委員長 142から149に該当しますか。

寺嶋委員 143ページは該当しますか。

委員長 143ページ該当します。

寺嶋委員 消防費のね、松田分署建て替えのための土地購入費、用地買収の経費が8,000万円、それから歳入のほうでは債務負担行為もありますけども、今までの成り行きだとね、契約条件が全く見えないっていうことで、粘り強く交渉するという、今までの一般質問などでのね、回答状況なんですけどもね、やっぱり今のままでね、予算計上するということ自体がね、ちょっと私は疑問なんですけどね。事業、進展内容も全然分からない、お示しできないということなんじゃないか。この辺は、どういうふうになっているのか、お伺いします。

委員長 まず、デマンドバスからね。

政策推進課長補佐 御質問ありがとうございます。まず、57ページ、お聞きいただきたいと思えます。委託料の上段です、人口ビジョン総合戦略策定支援業務委託料788万円のことかと存じます。こちらにつきましてはですね、現在これからですね、また方向性自体も、外部の委員さん含めた総合戦略審議会を開催させていただいて、その中でもんでいただきたいなと考えておるところですが、現状ですね、国のほうの計画もですね、踏まえた上で改定のほうをしていくようになるんですが、デジタルの関係がですね、要素としては色濃く出てきているところです。なので、デジタル化のですね、文言については、必要最低限はですね、この今回の改定の中で、策定の中で入れていくようになるのかなというふうに考えておるところと、あと、人口ビジョン自体もですね、数値が10年ほど前に社会保障・人口問題研究所のほうからですね、示された数値を用いておりますので、こういった形で反映するかは、また別なんですけど、この辺りの状況もですね、反映させていきたいなというふうに考えておるところでございます。

それとですね、71ページですね。すみません。先ほど古谷委員からも御質問頂

いた件とちょっと絡むところになるかと思います。まず、拡充分のMPですね、につきましては、現状1か所、30か所程度を考えているんですが、往復…往復というか、上下線っていうんですかね、で2か所というふうにカウントした場合は60か所程度を見込んでおるところですが、これにつきましても、先方との調整もありますので、増減、多少の増減はあろうかと考えておるところです。

また、先ほどの拡充に伴う2台の購入で追加というふうな形で答えさせていただいたんですが、単純にですね、先ほどの収支の絡みもございまして、単純に増やすというよりもですね、現状のエリアの中で、大分御利用いただいている状況もですね、見えてきているところですので、この辺りも踏まえて、例えば、その曜日別ですとか時間帯別なんかですね、この配車する台数を少し調整したりとかですね、そういったこともしながらですね、出っ込み引っ込みあるかと思うんですが、エリアの拡充に伴う部分としては2台というふうに今考えておるところですので、この辺は事業の採算性なんかも視野に入れた中で、最終的に調整していきたいと考えております。以上です。

参事兼政策推進課長

まずですね、57ページの人口ビジョン総合戦略でございます。こちらはですね、令和7年度から事業を進めるに当たり、いわゆる今までの企業版ふるさと納税の事業に対して、ここに位置づけられてるかというものもございまして。そして、また人口ビジョンのほうもですね、総合計画に今定めている2040年1万人、これと整合性をつける形のビジョンをつくっていくと。またですね、デジタルの交付金がございます。いわゆる地方創生交付金、こちらのほうもですね、ここに位置づけられているものに対してということもありますので、ここはしっかりしたものをつくっていくという形になります。

それで、今、補佐のほうからですね、デマンドバスの関係でございます。やっぱり収支についてはですね、町のほうも、いろいろな危機感を感じている中でですね、一般質問の回答に対してもですね、答えさせていただきましたが、やっぱり必要であればですね、収入のほうの、いわゆる運賃、運賃ですね、運賃の見直しも視野に入れた収支の計画を今、立てていく形、調整をしていくという形でございます。例えば、開成町さんの関係もあります。開成町さんの関

係もございますので、今、町内の方を限定しておりますが、開成町さん、あるいは大井町さんの運賃の見直しというのも視野に入れて進んでいくと。またです、平日と土曜日の運行時間の見直し、先ほど言った3台、もしくは3台を2台に見直すとか、そういうものを視野に入れながらですね、支出のほうを抑える。またです、さらに支出のほうの抑える中ではですね、様々なミーティングポイントの見直しもございますので、そういうのを全て、1年間をかけて、実証実験ですね、見直しして、収支のバランスを取っていくという形で考えております。以上です。

総務課長 すみません。最後の消防の用地の関係の契約のお話なんです、こちらのほうについては、すみません、先般、本会議のほうでも御説明をさせていただいたとおり、着実に交渉はさせていただいております。ただ、先方とのお話等は、内容については、契約する段階までは伏せるというお話のお約束の中で対応しておりますので、誠に申し訳ございませんが、それ以上のことは、ちょっとお話しできないような状況でございます。御容赦お願いできればと思います。よろしくお願いたします。

寺嶋委員 総合戦略の関係では、人口ビジョン等もこれから加味するという、特に今までのまち・しごと…何だっけ、おこして創生、地方創生があったんですけども、今後、デジタル田園都市というような名称といいますか、そういうような趣旨をね、若干見直すという国の関係があるので、その辺もね、加味して、今後やっていきたいというようなことで、よろしいのでしょうか。とにかく、今の現在2期目、2期のほうでは、子育て支援の拡充策とか寄地区の活性化に向けた拠点整備、あとは財政課のエネルギーの導入とか、取り組んでると思うんですけども、そういうのもさらに発展させるという方向で、よろしいんでしょうかね。それもお伺いします。

あとは、AIオンデマンドバスの実証実験、今、課長のほうから答弁がありましたようにね、とにかく経費の節減だとか、あとは事業内容の一部見直すというような方向性にあるということなんですけども、まずは利用者数ね、1か月は、今、何、1台あたりは60人ぐらいに増えてるというような状況なんです

ようかね。利用者数は、大体、この間、この前ちょっと私、メモしておいたんだけど、一般質問の関係で。12月が759人、1月が979人、2月が1,076人という状況でね、ようやく何ですか、1,000人を超えたというようなことではね、まだまだね、やっぱりそういう利用者のほうもね、増やさなきゃいけないと思います。あとね、やっぱりパスポート会員をね、今、67名ぐらいですかね、現状としてはね。これはね、本当にね、パスポート会員は1,000人ぐらいね、やっぱりいかないとね、もう採算…採算というのか、だって経費が、経費だよ、支出が9,000万以上かかるわけですよ、これからどのぐらいなるのか知りませんが。それに見合ったっていいですか、収入のほうもね、そういうことでは大分上げないとね、いけないと思うんで、やっぱりパスポート会員をね、どれだけ増やして安定的な収入を得ると。そして、経費、持続可能なね、そういう運行に持っていかなきゃいけないと思うんですけど、その辺の、再度ですね、考え方を伺います。

あとはね、やっぱり、消防、松田分署建ての土地購入費ということで、これ以上ね、分かるか分からないんですけど、公表できないものはね、しろって言ったって、それはね、今の段階では無理だと思うんですけども、ただね、この消防はね…（「委員長、端的な質問にしてください。」の声あり）はい。ただね、これ、土地の用地買収、用地交渉をして、それで実施設計とか入って、建物移転して建てるまでね、やっぱり6年、7年とかそういう長期かかるわけですからね、その辺も加味してですね、ぜひ慎重に検討していただきたいと思います。これは意見です。よろしく回答をお願いします。

政策推進課長補佐 ありがとうございます。まず、57ページの総合戦略につきましてはですね、基本的には総合計画を皆様にお認め頂いているところです。この総合計画とのですね、整合性を図りながらもですね、将来の目標人口1万人の達成に向けまして、有効と考えられる事業につきましては、そこの今度新たにつくるですね、総合戦略の中にも位置づけてまいりたいと考えております。この位置づけることで、先ほど参事がおっしゃっていたようにですね、国からの交付金であったりが有効にもらえるようになるといった、そういった利点もございますの

で、その辺も加味した上で、位置づけのほうを考えていきたいなというように考えております。

それとですね、パスポート会員1,000人を目指すということなんですが、まさにおっしゃるとおりですね、目標に比べまして、まだまだ足りないところは私たちも重々承知しておるところです。この達成に向けましてですね、我々のほうでは、交通会議の中でもですね、もんでいく必要があるんですが、お徳感がさらに出るように、例えば先ほどの料金体系の見直しですとかも含めまして、あと、今ですね、ちょっと課題として法人さんにも利用いただいているんですが、この法人用のカードというの、別にちょっと作ることで、さらに会員の増をですね、図っていけるような、そういったお徳感を出していけるような方法を関係者で話し合いながらつくっていききたいなと考えております。御意見ありがとうございます。

寺 嶋 委 員 終わります。

委 員 長 暫時休憩します。2時46分から東日本の黙祷がありますので、これやっちゃうと、また質問の途中になっちゃうといけないと。ここで休憩して、46分、あと5分ぐらいですね。 (14時40分)

委 員 長 それでは、休憩を解いて再開します。 (14時47分)

そのほかに御意見のある方、いらっしゃいますか。

井 上 委 員 2点あります。1点目はですね、ページ71ページの、先ほどから、何人かですね、聞かれていますけども、新モビリティサービスって、その中で、AIオンデマンド事業、前者の質疑の中ではですね、備品購入費で2台購入するというふうな回答がありました。ここで新しくですね、…1年間またこの事業をですね、続けていくわけですけれども、今現在ですね、3台目の運行だという説明の中でですね、5年度ですね、収支見込みはどうかということが分かればですね、まだ、1年経過していないと分からないということであれば、それでも構わないんですけれども、収支状況。その中で、松田町のほうでは、町委託料としまして2,600万円を委託料としてですね、支出をしております。その中で国庫はどの程度入っているのか、一般財源どの程度あるのかと。収支状

況の中にですね、やはりその収支は、そのオンデマンドバス事業における収益はどうかと、町からの委託料の部分というのは、その収支の中で、どういうふうにならぬ、関わっているのか。それがなくても成り立つような事業状況であるのか。あるいは、町からの委託料がないと成り立たないのか。その辺が分かればですね、説明をお願いをしたいと思います。

まず、2点目はですね、ちょっとページ数がどこということではないんですけども、基本的には戸籍住民基本台帳費等の中でですね、マイナンバーカードの申請等の作業が入っています。実際に、町民の立場から見て、マイナンバーカードを取得をしたんですけども、町民対応の窓口の中でですね、その利便性を感じる事が少ないという意見もあります。マイナンバーカード自体はですね、e-Taxの申請とか、医療機関ではですね、保険証に代わるものとして自動読み取りができて、簡便に対応できる等があります。お膝元の松田町役場の町民対応として、このマイナンバーカードを利用することによる利便性は、こういった部分で予算化をされているのか、その2点をお伺いをいたします。

政策推進課長補佐 御質問ありがとうございます。71ページに関連する御質問を頂きました。まずですね、収支の見込みということなんですが、本会議のほうでもお答えさせていただいているとおりですね、今の現状なんですが、約2,800万程度のマイナスとなるような見込みでおるところです。これまだ確定ではないんですが、現状では、そのようになるのかなと考えておるところです。

またですね、町の委託料につきましてはですね、原則、例えばシステム…配車システムのイニシャルの部分にですとか、あとMPの設置に関する部分、要するにですね、初期投資ですね、の部分につきましては、この町のほうから委託料を支払うことで捻出していただいて、そのランニングコストにつきましては、我々のほうで幾らかですね、充てることはできるんですが、基本的には、考え方としては利用者さんからのですね、運賃収入を充当していきたいというふうに見込んでおるところでございます。

また、今年度…来年度ですね、2,600万円計上させていただいている予算につき

ましては、原則その半分ですね、1,300万円が国からのデジタル田園都市国家構
想交付金となっております。また、これに関連する費用についても、この委託
料以外のところもですね、原則は2分の1が国から与えられるということを見
込んでおるところでございます。以上となります。

委 員 長 マイナンバーカードはどちらですか。どうぞ。

窓口サービス係長 先ほど井上議員のほうから御質問があったんですけれども、マイナンバーの
活用という点では、国全体でというお話もありますので、まだ松田町では独自
利用ということで何かカードの利用を広げているわけではないんですけれども、
一応、町のほうではカードのほうを使いまして、コンビニ交付等で住民票です
とか印鑑登録証明書等を取ることができます。また、今、ニュース等でもやっ
ていますけれども、保険証とのひもづけ等で、保険証がなくとも病院のほうで、
そちらで資格確認等ができるようになりまして、保険証の代わりということも
できるようになっています。また、マイナポータル等、個人で…（「庁舎内」
の声あり）庁舎内でできることというのと、そのひもづけ等をしたり、あとは転
入・転出の関係ですかね。そちらのほうをカードのほうでやっていただけると、
書いたりしなくても、こちらのほうの、役場のほうで転入等やれるというサー
ビスももう始まっています。また、こちらの課だけではないんですけれども、
児童手当ですとか公金の振込等でも、お口座の登録等を最初のほうにしてい
ただいてる方であれば、役所のほうからの振込等もそちらのほうの確認が取れ
れば、マイナポータル等使って振込等もできるようになると思います。だんだ
んとサービスのほうも広がっておりますので、そちらに付随して役場のほうでも
独自利用等をまた考えていければとは思っております。以上です。

井 上 委 員 ありがとうございます。5年度のですね、収支のほうは2,800万円のマイナ
スということであります。これは町のほうの、町からのですね、補助金と…委託
料ですか、補助金とか。そういったものが入って、なおかつ2,800万円のマイナ
スなのかということ再度ですね、お伺いをしたいと思います。要は初期投資が
かなりね、5年度は初期投資部分が大きいのかなというふうに思いますので、そ
の辺、初期投資が入ったものなのか、それとも運用…以前からの運用事業のマイ

ナスなのか、そこもちょっと併せてお願いをしたいと思います。

2点目の町民窓口対応はですね、今のところは住民票等のコンビニ交付は、庁内申請は駄目だけれども、コンビニでは交付はできるよという理解かなと思います。できればですね。あと転入・転出はマイナンバーカードでできるという回答でした。これからですね、可能性としてはあるものというものをできるだけですね、予算化するようにということで。コンビニ交付ができるんだっつらば、庁内交付もですね、ぜひお願いしたいというのはやはり町民の見方だというふうに思います。将来的なマイナンバーカードを庁内での利用で、町民の窓口手続を簡便にできるような方向策があれば教えていただきたい。再度お願いいたします。

政策推進課長補佐 おっしゃるとおり、インシャルコスト、初期投資をですね、含めた全ての経費を加味した上での2,800万円のマイナスということになっております。以上です。

委 員 長 細谷さん。マイナンバーカード。

窓口サービス係長 ちょっとまたこちらの課だけの範囲の話ではなくなってしまうと思うんですけれども、よくほかの事例で見るとしては、例えば図書館のカードの利用としてマイナンバーカードにそういう機能をのせるですとか、あと窓口で出せる帳票以外のほかの証明書類等を出せるようなものにもそういうものを順次かせていくとか、そういうものがあるかなと思いますけれども、そういうのはまた庁舎内でもいろいろ皆さんの御意見を頂いて、広げていくような可能性としてはあるのかなと思います。以上です。

井 上 委 員 分かりました。オンデマンドバス事業、まだ事業中途だというふうに思います。ある程度また、それぞれの節目があった時点でですね、そういったものの御報告をお願いをしたいと思います。

マイナンバーカードの将来利用についてはですね、やはり庁内の中のプロジェクトでその辺をどういうふうにするかということを検討されるのではないかなと私は思いますので、そういった中で、やはり町民目線に立った利用というのをですね、踏まえた活用を計画をしていただきたいと思います。終わります。

委員長 ほかにございませんか。ないようですので…（発言を求める声あり）

北村委員 ありがとうございます。61ページ、寄地区定住促進奨励金なんですけれども、こちらの施策…転入されてきたら補助金もらえるよというような形で、ちょっと随分分かりやすい形の施策だなと思うんですけど、これ採用された経緯とです、多分、もう短期的な人口増加というのを狙っているのかと思われるんですけども、そこら辺の緊急性の状況とかというふうなところを御回答いただければと思います。よろしく願いいたします。

定住少子化対策係長 ページ61ページでございます、今年度より予算計上しております寄地区定住促進事業の中です、負担金及び交付金の中の寄地区定住促進奨励金の御質問かと思えます。この策定といいますか、制度の経緯でございますけれども、今回の一般質問にもございましたが、人口減少というところは非常に厳しいところがございます。そういった中でですね、もう全国的に人口の奪い合いというような状況は議員各位におかれましては御存じかと思えます。そういった中でですね、県内の団体を調べたりだとか、いろいろ、どういった施策をやるかというところを手前ども予算を組むときに考えておった中でですね、手前どもではちょっと使えないんですけども、国として三大都市圏か地方に移住する場合、国が地方創生移住支援事業といたしまして、100万円を、世帯に100万円をですね、渡すような制度を国でやっております。国自体がこういったことをやっております、手前ども三大都市圏に存在しているということで、この事業には対象にはならないんですけども、このぐらいインパクトがあるようなことというのは、今、寄地区もですね、総合計画の中で約20年の間に人口が33%、3分の1減ったというような事実もございます。こういったですね、緊急性といいますか、ものに鑑みまして、即効性を狙ってですね、このような移住に対します奨励金を制度化したというところがございますので、これもですね、実施の状況によりまして今後継続していくのかとかということは、今後理事者等とは協議をしていきたいと思えますし、またその状況というのは決算の中で議員各位にはお知らせしていくのかなと思っております。以上でございます。

